

1 研究主題

授業研究や教材研究を通して、授業力の向上を図る。

2 研究の概要

実習・教材研修・授業研修の計 3 回の活動を行った。活動を通して教材・指導法について情報交換したり授業を参観したりして、研修を深めた。

3 研究の実際

(1) 野外観察実習（6月）

五泉市内にある早出川に行き、早出川を活用してどのような学習活動ができるのかを研修した。

研修では、巢本小付近にある善願橋に向き、付近の川の流れや、岩石などの調査を行った。実際に川の中に入り川の内側と外側の流れの速さや岩石の大きさの違いなどを調査した。

地域の川が身近にあることを活かし、「流れる水の働き」や総合的な学習の時間に野外活動を位置付けていきたい。



(2) 教材研修会（9月）

各部員がレポートを持参し発表・協議を行った。

- ・「てこのしくみとはたらき」の単元の実践発表
- ・水溶液の性質を利用した色変わりカードの紹介
- ・「学び合いを通し、課題解決に取り組む授業展開」をテーマにした実践発表
- ・授業で使えるネタ（真空実験、レンズの実験）の紹介
- ・「ものの溶け方」「水溶液の性質」の単元の実践発表
- ・「人や動物の体」唾液の働きを調べる実験で抵抗感をなくす方法の紹介
- ・実験・観察（ミジンコの探し方、メダカの卵の産ませ方等）に関する提案
- ・子どもが意欲的に学習した教材の紹介
- ・「植物の養分と水の通り道」の単元の実践発表

(3) 授業研究（10月）

ア 単元名 水溶液の性質

イ 授業者 前澤 隆史（五泉東小学校 教諭）

ウ 授業の実際

単元の導入の時間。6種類の液体を提示し、それぞれの水溶液の正体を予想した。

今まで学習したことを基にどうやって調べたらいいか班で意見を交わし、その後クラス全体の話し合いで方法を共有した。



図1 試験管からのにおいを嗅ぎ、感覚を交流している。

4 成果と課題

野外観察学習・教材研修・授業研究を通して、理科学習における教材開発・教材研究の大切さを感じるとともに、知見を広げることができた。今後も効果的な理科指導について情報交換をし、授業力の向上を目指していきたい。